

高等学校 令和 5 年度 (2 学年用)

教科 : 国語 科目 : 基礎古典

単位数 : 2 単位

対象学年組 : 第 2 学年

教科担当者 : (1組・2組: 齋藤晃輝) (5組・6組: 最上仁志)

使用教科書 : 古典文法クリアノート (尚文出版)

教科の目標 : 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたる国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目の目標 :

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 間
1 学 期	1 単元名 言語文化の復習・基本的な古典文法						
	【知識及び技能】 古典に用いられることができる語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできる。((1)ア)	【使用教材】 個人端末、プリント、『古典文法クリアノート』	【知識及び技能】 古典に用いられようとしている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。((1)ア)				
	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。	【指導項目・内容】 ・古文の特徴アラカルト ・五十音図というは歌 ・歴史的かなづかいと発音	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えようとしている。	○	○	○	5
【学びに向かう力、人間性等】 古典に用いられることができる語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできる。((1)ア)	・ことばの単位と品詞 ・品詞分類・自立語・付属品 ・活用と活用形のはたらき	【学びに向かう力、人間性等】 古典に用いられようとしている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。((1)ア)					
1 学 期	2 単元名 動詞の活用について						
	【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めることができる。((2)イ)	【使用教材】 個人端末、プリント、『古典文法クリアノート』	【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めようとしている。((2)イ)				
	【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができる。(A(1)イ)	【指導項目・内容】 ・動詞の活用の種類の見分け方 ・変格活用(力変・サ変・ナ変・ラ変) ・上二段活用・下二段活用 ・四段活用 ・上二段活用・下二段活用 ・動詞の音便・自動詞・他動詞と補助動詞	【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとしている。(A(1)イ)	○	○	○	5
【学びに向かう力、人間性等】 今までの学習をふまえて、時代による語彙や表現の違いについて考えを深めようすることができる。		【学びに向かう力、人間性等】 今までの学習をふまえて、時代による語彙や表現の違いについて考えを深めようとしている。					
1 学 期	3 単元名 形容詞・形容動詞の活用について						
	【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めることができる。((3)イ)	【使用教材】 個人端末、プリント、『古典文法クリアノート』	【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めようとしている。((3)イ)				
	【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができる。(A(2)イ)	【指導項目・内容】 ・形容詞の活用 ・形容動詞の活用 ・形容詞・形容動詞の音便 ・形容詞・形容動詞の語幹の用法	【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとしている。(A(2)イ)	○	○	○	8
【学びに向かう力、人間性等】 今までの学習をふまえて、時代による語彙や表現の違いについて考えを深めようすることができる。		【学びに向かう力、人間性等】 今までの学習をふまえて、時代による語彙や表現の違いについて考えを深めようとしている。					
2 学 期	1 単元名 助動詞の活用と意味 1						
	【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めることができる。((4)イ)	【使用教材】 個人端末、プリント、『古典文法クリアノート』	【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めようとしている。((4)イ)				
	【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができる。(A(3)イ)	【指導項目・内容】 ・名詞と副詞 ・連体詞・感動詞・接続詞 ・助動詞の分類 ・助動詞の用法	【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとしている。(A(3)イ)	○	○	○	8
【学びに向かう力、人間性等】 今までの学習をふまえて、時代による語彙や表現の違いについて考えを深めようすることができる。		【学びに向かう力、人間性等】 今までの学習をふまえて、時代による語彙や表現の違いについて考えを深めようとしている。					

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 間
	3 単元名 助詞のはたらきと意味						
2 学 期	【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めることができる。(6)イ)	【使用教材】 個人端末、プリント、『古典文法クリアノート』	【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めようとしている。(6)イ)	○	○	○	8
	【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができる。(A(5)イ)	【指導項目・内容】 ・格助詞 ・接続助詞 ・係助詞 ・副助詞 ・終助詞・間投助詞	【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとしている。(A(5)イ)				
	【学びに向かう力、人間性等】 今までの学習をふまえて、時代による語彙や表現の違いについて考えを深めようとする事ができる。		【学びに向かう力、人間性等】 今までの学習をふまえて、時代による語彙や表現の違いについて考えを深めようとしている。				
	4 単元名 敬語表現について						
2 学 期	【知識及び技能】 古典に用いられることができる語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(1)ア)	【使用教材】 個人端末、プリント、『古典文法クリアノート』	【知識及び技能】 古典に用いられようとしている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ア)	○	○	○	4
	【思考力、判断力、表現力等】 内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとする事ができる。	【指導項目・内容】 ・語の識別 ・敬語表現 ・注意すべき敬語表現 ・修辞法	【思考力、判断力、表現力等】 内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。				
	【学びに向かう力、人間性等】 内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとする事ができる。		【学びに向かう力、人間性等】 内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。				
	1 単元名 古文 随筆						
3 学 期	【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解できる。	【使用教材】 個人端末、プリント、『古典文法クリアノート』	【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解しようとしている。	○	○	○	8
	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。(B(1)オ)	【指導項目・内容】 ・方丈記 ・枕草子 ・十訓抄 ・玉勝間	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつようとしている。(B(1)オ)				
	【学びに向かう力、人間性等】 随筆に表れたものの見方・考え方・美意識を理解し、積極的に自分の考えを伝え合おうとすることができる。		【学びに向かう力、人間性等】 随筆に表れたものの見方・考え方・美意識を理解し、積極的に自分の考えを伝え合おうとしている。				
	2 単元名 古文 詩歌						
3 学 期	【知識及び技能】 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解できる。	【使用教材】 個人端末、プリント、『古典文法クリアノート』	【知識及び技能】 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解しようとしている。	○	○	○	8
	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品や文章に表れることができるものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できる。	【指導項目・内容】 ・万葉集 ・古今和歌集 ・新古今和歌集	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品や文章に表れようとしているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈しようとしている。				
	【学びに向かう力、人間性等】 進んで、和歌や歌謡における表現の特色を理解し、学習課題に沿って、詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取ることができる。		【学びに向かう力、人間性等】 進んで、和歌や歌謡における表現の特色を理解し、学習課題に沿って、詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取ようとしている。				